

テーマ Safe care for noncommunicable diseases
スローガン Safe care for life!

切れ目なく支える安全なケアを

患者さんは“治療を受ける人”ではなく、安全なケアをともにつくる**パートナー**です。

医療者の5つの行動が、患者さんの未来を守ります

1 リスクを見逃さない

- 適切な検査・モニタリング
- 薬剤によるリスクの予測・評価

2 正確な薬物療法を実践する

- 適切な処方
- 検査値・既往歴・アレルギー歴などの確認

3 切れ目のない情報共有を行う

- マイナ保険証等による情報共有
- 地域連携



4 患者さんと共に意思決定する

- 治療方針の共有
- 共同意思決定

5 多職種で支えるチーム医療を実践する

- 多職種連携
- 役割を補完し合う協働体制



Noncommunicable Diseases (NCDs) とは？



心血管疾患



がん



糖尿病



慢性呼吸器疾患



精神・神経疾患など

これらの疾患は長期にわたり、複数の医療機関や生活の場面でのケアが必要となり、さまざまな安全上のリスクが生じやすくなります



その**気づき**

その**確認**

その**連携**

が、

患者さんの「これからの人生」を守ります。